

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	杉本有紗	職名	講師	学位	人間環境学 (修士)
----	------	----	----	----	------------

研究分野	研究内容のキーワード
臨床心理学 心理学的介入 心理リハビリテーション	高齢者臨床 臨床心理学的援助 役割意識 心理劇 施設職員

研究課題
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の臨床心理学的理解及び臨床心理学的援助 ・対人援助場面における自己と他者の行動及び心理の理解を促す研修のあり方 ・児童養護施設職員のストレスの理解と支援

担当授業科目
初年次セミナーⅠ (前期) (福祉学科) ヒューマンサービス基礎演習 (前期) (福祉学科) 心理学と心理的支援Ⅰ (前期) (福祉学科) 発達心理学Ⅱ (前期) (福祉学科) カウンセリング論 (前期) (福祉学科) カウンセリング演習 (前期) (福祉学科) 発達臨床心理学演習 (前期) (福祉学科) 高齢者支援学Ⅰ (前期・集中) (看護学科・福祉学科・栄養学科) 高齢者支援学Ⅱ (前期・集中) (看護学科・福祉学科・栄養学科) 初年次セミナーⅡ (後期) (福祉学科) 心理学と心理的支援Ⅱ (後期) (福祉学科) 発達心理学Ⅰ (後期) (福祉学科) 社会心理学 (後期) (福祉学科) 高齢者臨床心理演習 (後期) (福祉学科) 子ども家庭支援の心理学 (後期) (福祉学科) 専門研究Ⅰ (通年) (福祉学科) 専門研究Ⅱ (通年) (福祉学科) 卒業論文 (通年) (福祉学科) 母子の心理・社会学 (前期・集中) (助産別科) 1コマ

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 初年次セミナーⅠ 】 本演習では、1年生を対象とし、大学生として必要なアカデミック・スキルのアップを目指した。 2022年度は17名前後のグループを1グループあたり4回、全3グループを担当した。心理学の雑誌記事を題材に、課題図書の話読、批判的読解、レポートの書き方についてスモールステップで課題を課した。 グループワークを取り入れ、学び合う姿勢が育まれるよう心掛けた。
授業科目名【 ヒューマンサービス基礎演習 】 本演習では、ヒューマンサービスの基礎となる対人場面での援助につながる自己理解の向上を目指した。 2022年度は全1年生をAクラス3グループ、Bクラス3グループの計6グループに分けた。その結果1グループ15名前後で構成された。教員3名は、各々Aクラス1グループ、Bクラス1グループの計2グループを担当した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況を把握し、フィードバックを行った。

<p>授業科目名 【 心理学と心理的支援Ⅰ 】</p> <p>本講義では、心理学の研究法、発達心理学、人格心理学、臨床心理学の基礎となる理論や著名な研究、導き出されたな理論等、心理学の概論について解説を行った。また、心理的支援について解説を行った。</p> <p>プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名 【 発達心理学Ⅱ 】</p> <p>本講義では、青年期から老年期までの生涯発達心理学について、特に老年期の心身の発達や様々な理論を中心として解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名 【 カウンセリング論 】</p> <p>本講義では、カウンセリングの理論、カウンセリングの基本的な進め方と基礎的な技法について解説を行った。プリントを基本に進めた。模擬事例の一部やワークシートを利用し、学生の理解が進むように努めた。</p> <p>毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名 【 カウンセリング演習 】</p> <p>本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p>
<p>授業科目名 【 発達臨床心理学演習 】</p> <p>本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p>
<p>授業科目名 【 高齢者支援学Ⅰ 】</p> <p>本講義は、看護、福祉、栄養の3学科6教員により、看護、福祉、栄養の3学科の学生を対象に、アクティブシニアが活動的に生活し続けるための支援方法について、解説と実技指導を行うものである。講義では、高齢者の心理的発達、高齢者の社会参加とその臨床心理学的意義についての解説を担当した。アイスブレイクを行い、3学科の学生合同のグループでのPBL（問題解決型学習）が円滑に進むよう促した。</p>
<p>授業科目名 【 高齢者支援学Ⅱ 】</p> <p>本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p>
<p>授業科目名 【 初年次セミナーⅡ 】</p> <p>本演習では、1年生を対象とし、大学生として必要なアカデミック・スキルのアップを目指した。</p> <p>2022年度は17名前後のグループを1グループあたり6回、全2グループを担当した。心理学研究の研究論文を課題図書とし、課題図書の講読、批判的読解、レポートの書き方（データのまとめ方：KJ法）についてスモールステップで課題を課した。グループワークを行い、学び合う姿勢が育まれるよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名 【 心理学と心理的支援Ⅱ 】</p> <p>本講義では、学習心理学、認知心理学、社会心理学等の基礎となる理論や著名な研究等、心理学の概論について解説を行った。</p> <p>プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名 【 発達心理学Ⅰ 】</p> <p>本講義では、胎児期から青年期までの生涯発達心理学について、特に乳幼児期の心身の発達や様々な理論を中心として解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。</p>

<p>授業科目名【 社会心理学 】</p> <p>本講義では、社会心理学の基礎となる理論や著名な研究、社会心理学の概論について解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。日常生活との接点を考えることが、理論の理解に結び付きやすいため、小レポートでは、授業で紹介した理論が日常生活ではどのような形で現れるかを考えて例示するよう促した。授業のはじめに、前回の授業のキーワードとその意味、小レポートで提出された例について共有し、学生の知識の定着が進むように心がけた。</p>
<p>授業科目名【 高齢者臨床心理演習 】</p> <p>本演習では、高齢者臨床におけるアセスメントや心理面接についての指導を行った。発達の側面からの理解を振り返った上で、臨床場面における高齢者の心理について考えながら、アセスメントの手順、アセスメントの際の配慮について演習を行った。また、認知症高齢者の心理について文献を通して理解した上で、心理療法の目的、手順、具体的配慮、その効果について、事例検討とロールプレイによる演習を通して理解を深めた。</p>
<p>授業科目名【 子ども家庭支援の心理学 】</p> <p>本講義では、生涯発達心理学、家族・家庭の機能や構造、支援を必要とする家庭についての講義、解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、ワークシートにてポイントをつかめるように工夫した。学生同士で話し合うことで理解を深めるような機会も適宜取り入れた。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p>
<p>授業科目名【 専門研究Ⅰ 】</p> <p>受講する学生の興味関心のある専門書や論文を持ち寄り、文献講読を行った。また、人間科学についての研究法を解説し、研究テーマの設定について議論を深めた。少人数のクラスであり、積極的に意見交換を行った。学生が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めた。</p>
<p>授業科目名【 専門研究Ⅱ 】</p> <p>本年度は受講する学生は0名であった。</p>
<p>授業科目名【 卒業論文 】</p> <p>本年度は受講する学生は0名であった。</p>
<p>授業科目名【 母子の心理・社会学 】</p> <p>本講義では、第1回テーマ「ライフサイクルの心理的特性と発達課題」について解説を行った。発達心理学の理論と母子を取り巻く課題について取り上げた。プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本心理臨床学会	会員	2001年～現在に至る
日本臨床心理劇学会	監事 (2012年4月～現在に至る) 心理劇臨床技能士	2001年～現在に至る
日本リハビリテーション心理学会	会員	2002年～現在に至る
日本臨床心理士会	会員	2004年～現在に至る
福岡県臨床心理士会	会員	2004年～現在に至る
日本発達心理学会	会員	2007年～現在に至る
日本心理学会	会員	2008年～現在に至る
九州臨床心理学会	北九州地区委員 (2022年4月～現在に至る)	2022年～現在に至る

2022年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床心理センター	研究員	2008年4月～2023年3月
大分県中津児童相談所（発達相談・心理判定）	非常勤心理判定員	2016年4月～2023年3月（1回/月）
大分県中津児童相談所（保護者等カウンセリング事業）	サイコロジカルスーパーバイザー	2021年4月～2023年3月（不定期）
大分県中津児童相談所（施設支援専門事業）	講師	2023年1月6日（3時間）、2023年3月8日（3時間）
日本臨床心理劇学会第48回学術大会（研究発表）	座長	2023年2月19日

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）

<p>(大学)</p> <p>学生募集委員会 委員（高大連携ワーキンググループメンバー）</p>
<p>(学科)</p> <p>ヒューマンサービス基礎演習 担当</p> <p>保護者会ワーキンググループメンバー</p>